

# 7月のおすすめ絵本

## ねずみのかいすいよく

作 山下明生 絵 いわむら かずお

ねずみの7つ子達が海水浴に出掛けます。

みんな色々やりたい事があり「目が届かないと大変だ」と子供達の心配したお父さんは、みんなの浮輪にロープを付けます。

みんなそれぞれ海遊びを楽しみ、美味しいお弁当も食べて気持ちよくお昼寝していると・・・お・お父さんが!!!

見張り台にしていた岩が、潮が満ちたせいで島流しに。それも、実はお父さんは、泳げない・・・さあ、お父さんを無事に助ける事はできるのでしょうか??

熊本は、とっても暑いので、きっと夏休みに入る前から海水浴へ出かけるご家族も多いのでは??とこの絵本を選んでみました。

『お父さん=なんでも出来る人!!』というイメージがきっと子ども達の中にあるので、以前、読み聞かせで読んだ際に、この絵本の展開には驚く子が多かったです。でも、父の欠点をさりげなく母がフォローしたり、優しく語り掛けたりする姿もあり、こんな家族に、そして優しい気持ちになれたらいいなあと思う作品です。

『14ひきのひっこし』など、14ひきシリーズでも有名な、いわむらかずおさんによる絵で、どのページにも温かさ溢れる絵が描かれています。『ねずみの~』もシリーズがありますので、ぜひ、この夏 シリーズの絵本も読んで、皆さんも温かい気持ちでいっぱいになって頂けたらと思います。

